

に「に」通信

第一〇六号 平成十六年一月二十日

〒九三三〇八〇 高岡市問屋町四十

有限会社 沖商店発

2015.01.20

TEL 〇七六六一五五〇

FAX 〇七六六一五五〇〇

E-mail okashoten@oem.orc.ne.jp

いつもお世話になりありがとうございます。

『人は何の為にこの世の中へ生まれて来たのでしょうか』『人生の本来の目的は何なのでしょうか』『そんな人生の根本問題を皆様と一緒に考えたいと思い、皆様の心に一石を投じて、意見を頂く機会になることを願って本通信をお届けしている次第です。どうか忌憚りの無いご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。』

一 書初め

あけましておめでとうございます。

今年も一年、よろしくおねがいいたします。

さて、この度の年末年始の休日は、曜日も大いに関係し、十二月二十八日から一月四日までの八日間と、当社としては最近にない長い連休となりました。

昨年、三協アルミの創業者・竹平政太郎様がお亡くなりになり、私も親族は、今新春の年賀のあいさつ回りも『遠慮』ということで、八日間ほとんど家に閉じこもりきりでした。

その八日間、ほとんど終日酒を飲んで過ごしました。その量は自分でも驚くほどで、ビール・日本酒・ウイスキー・焼酎をがちや混ぜに呑み、一日平均アルコール摂取量は日本酒に換算すると一升は超えています。

それなのに、身体は何処も痛くも悪くもありません。それで、毎年、年の初めから年の終りまで一年通じて、沢山なお酒を与えてくださる神様に、心から感謝の念が湧き上がって、自然に手が合わり、祈らずにはいられなくなるのです。『神様、今年も(今日も)好きな酒をお与えくださいありがとうございます』と。

ところで、昨年の暮れから酒を飲みながら、今年の手紙初めは何を書こうかと、考えていましたが、『自己責任』に決めました。

近頃は、自分のことは棚において、何でも他人(周囲)のせいにする風潮がたかまっています。

『私が転んだのはこんな所に石ころがあるのを放置しておいた国(行政機関)のせい』『彼が罪を犯したのは環境のせい』『私がこうなったのは、あなた(のせい)』

そこには、他人にのみ責任を問い、自らは責任を負わない(負いたくない)自分中心の考え方(利己主義)が、剥き出しにされています。

そういう人には「注意深い人はそんな石ころには躓きませんよ」「彼と同年輩・同条件で育った者は皆罪を犯しますか」「私の相手は皆あなたの様になると言うのですか」と言いたいです。

クレジットカードの普及は、今日、支払方法の常識のようになっています。それどころか外国では、偽札などの関係で現金より信用があるそうです。

しかし、そのシステムが理解できない人に持たせると、とんでもないことになります。『打出の小槌』でも思いつか、後のことも考えず意のままに欲する物を買ひ込み、その支払いに追われ、挙句の果てはサラ金に手を出し、サラ金地獄に落ちるのです。サラ金地獄・ねずみ講は、頭の悪い人・欲張りな人が引つ掛かるのです。

詐欺師に言わせると、一番掛かり易いのは欲張りな人、二番目は自信過剰な人、一番掛かり難いのは欲が少なく真面目・誠実に生きている人だそうです。詐欺に掛かるのも、サラ金地獄に落ちるのも、ねずみ講に引つ掛かるのも、みんな自分のせいです。

国や県は放置しておく社会問題に発展するので注意を促したり、少しでも被害者を擁護したりしているだけです。それなのに、国や県の老練心を逆手に取り、そんな者を放置している国や県が悪いと言っているのは間違いです。国や県の責任ではありません。引つ掛かった者の責任です。

私自身も苦境に立った時、他人のせいにはせず、その状態の中で自分は如何するか、『自己責任』を掲げて今年一年頑張りたいたいと思いで書きました。

ところで、字の下手な私は毛筆が最も苦手です。写経の際の小さい文字と違い、だるま筆で書く太く大きい字は、ごまかしが効きません。

筆に墨をつける、筆をしごいて筆先を整える、呼吸を止めて筆を入れる、横へ引く、止めて押える、筆を上げ呼吸をする、又筆に墨をつけ、筆をしごいて筆先を整え、息を止めて筆を入れる、縦に引く、刎ねる、呼吸をする、これをくりかえしくりかえし、今度こそ思い通りの線を書くぞと頑張るのですが、思う様になりません。

太過ぎ、細過ぎ、長過ぎ、短過ぎ、右上げ過ぎ、刎ね過ぎ、上下左右のアンバランスなど、一字でさえこれだけ思う様になりません。そしてその上さらに

に四字のバランスもあります。

始め、新聞紙で練習します。満足いかないまでも、まあまあ線のかなというところで清書に入ります。

緊張のあまり肩・腕・手首の関節が硬くなり、動きがロボットの様にぎこちなく、気に入った字になりません。くやしくて、その上に練習で書くとき意外と伸び伸びとした線が書けます。

今度こそ新しい紙に書くと、また同じ失敗の繰り返しとなります。

清書用紙が勿体ないので、新聞紙での練習に戻るとすると割と気に入ったものができます。

今度こそ新しい紙に書くと、また同じ失敗の繰り返しとなる。但し、最初よりは出来がいい。

こんなことを繰り返すと、二十枚有った清書用紙も残り十枚をきるころになると、自分の能力のなさを知らされ、「練習はやめ、ぶっつけ本番の思いで残りの用紙に書き、その中の一番良いのを選ぶより仕方がない」と諦めさせられる様になりました。

そしてできたのが、会社の神棚の下にぶら下げてありますので、機会のある方はご覧ください。

二 指紋押捺・写真撮影

今年に入って米国は、危険人物の入国を防ぐため、入国者の指紋押捺・写真撮影を実施、その様子が報道されていました。

私は、指紋押捺には大賛成です。

自分の特徴を秘したいという思いの裏には、何かあるのでしょうか。プライバシーの侵害と言われませんが、何のプライバシーでしょうか。

プライバシーを辞典で調べてみました。Privacy 他人のたしめるべきでない、ひとりひとりの生活の領域。Privacyを侵すもの、つまり他人がたしめるべきでない領域にはどんなものがあるか。たとえ、相手が何歳か、どの政党を支持しているか、月給はどのくらいもらっているか、子供を何人ももっているか、下宿代はどのくらいか、などをたずねることは、Privacyの侵害と言えます。

自分自身を特定する事柄を公にすることは、プライバシーの侵害だとは限らず、自分の生活の領域が侵されることこそプライバシーの侵害と言えます。すなわち、個人の特定と、その人の生活の有り様は、別物として考えるべきだと思います。

普通の人は、一旦、事が有った場合、いち早く自分であることを知ってもらおう方が良く、と考えていないのでしょうか。

自分自身を特定することを公に知られて都合が悪いのは、悪いことをしているか恥ずかしいことをしている(又は、したい)からでしょう。

今、日本でも中国人をはじめ外国人の犯罪が急増しています。パスポート・ビザの偽造も横行していますし、入国時の指紋押捺・写真撮影は絶対に必要だと思えます。

私に権限を与えてくれたら、次のようになります。

『人が誕生して、出生届けを出す際は、その者の指紋押捺書(十指共)と、医師の証明によるDNA鑑定書・血液型の明細書(その他、個人を特定できる方法すべて)を添えて届け出をしなければならぬ』

そうすれば、事故に遭った場合、速やかな対応ができますし、悪いこと・恥ずかしいことをする者も少しは少なくなると思います。

さらにそれが全世界に広がれば、海外旅行の際のビザも不要になりますし、臓器提供などの医療の面でもとても役に立つと思います。

三 自衛隊イラク派遣について

遂に、陸上自衛隊がイラクに派遣されました。狙い撃ちにされるのは目に見えています。

私がテロの指導者なら、米軍や他の何処の部隊より、何をさておいても、今、派遣された日本の陸上自衛隊の攻撃を優先します。

なぜなら、他の国は、多少の反対者がいても、一旦派遣したとなれば、それは国挙げての方針であり、多少の犠牲は覚悟していますので、攻撃の効果・影響が小さいのです。

ところが、日本は野党の反対がはげしく、ひとりでも犠牲を出さうものなら、待ってましたとばかりに騒ぎ立て、遺族を巻き添えにして世論を煽り、政権交代を企むのに決まっています。

そんな雰囲気だからなのか、自衛隊員の中で、イラク派遣命令を断った者が、いたとかなかったとか。派遣するなら国を挙げて送るべきでしょう。

ということで、米軍兵十人を殺すより、日本の自衛隊員一人に怪我を与えたほうがテロとしての効果が、とても効率良く発揮されるからです。

敵は、日本の自衛隊が早く来ぬかと、てぐすねひいて(準備万端整えて)待ち構えているような気がしてなりません。

有限会社 沖商店 代表取締役 沖昌弘

個人メール E-mail okashoten@oem.orc.ne.jp

(お問い合わせ) 意見等は個人メールで連絡して下さい